

## 朝市の賑わいで地域を元気に

恒例の御厨星鹿トラック朝市が7月10日、御厨町の坊ノ上埋め立て地で開催されました。

昨年6月から始まったこの朝市は、松浦商工会議所御厨支部（西村直志支部長）が中心となって毎月1回第2日曜日に開催しています。

この日は15業者が出店し、新鮮な花や野菜、海産物などがトラックの横や荷台いっぱいに並べられていたほか、1周年の記念イベントとして中学生以下の子どもたちを対象に魚のつかみ獲りが行われ、会場内は大勢の買い物客と家族連れで賑わいました。



### 御厨星鹿トラック朝市 1周年

魚のつかみ獲りでは、プールの中を泳ぐタイやヤズなど約100匹の魚を、参加した子どもたちが水しぶきを上げながら、楽しそうに追い掛けていました。

また、1周年記念イベントは第2弾として、8月21日に大道芸人のパフォーマンスや縁日風トラック市、釣り大会やバーベキューなどの“トラックタ市”が開催されます。



## みんなで作った七夕飾り

### うつみ乳児保育園

松浦鉄道（MR）松浦駅の待合室に7月5日、七夕飾りがお目見えしました。

この七夕飾りは、うつみ乳児保育園（尼崎真理子園長）の園児たちが作製したもので、同駅を利用する学生などの短冊も一緒に飾られています。同園では、毎年園内に七夕飾りを行っています。今年同駅の利用客にも夏の風物詩を楽しんでもらおうともう一本作製。同園の1歳児から2歳児までの園児たち約30人は、7月13日に同駅を訪れ、待合室に飾られた七夕飾りをうれしそうに眺めていました。



## 31 文字に想いを寄せて

### 西海短歌祭

第21回西海短歌祭が7月10日、文化会館で開催されました。

県内を中心とした短歌愛好家で作る西海短歌連盟（山口礼子会長）が、出詠者同士で学習しながら親睦を深め、地域の文学の発展につなげたいと開催しているものです。この日は、会員や近隣の短歌愛好家約30人が参加。事前に寄せられた短歌61首の作品の中から、互選賞や選者選賞などの入選作品が決まりました。市内の入賞者は次の通りです（敬称略）。

【互選賞】 西海短歌連盟賞 石川元治



# 受章おめでとうございます

春の叙勲受章者を紹介します。

## 春の叙勲

### 旭日双光章（地方自治功労）

久保川 満さん  
みつる

（志佐・庄野、82）



昭和54年5月に地域住民から推されて松浦市議会議員に初当選以来、平成11年5月まで4期16年、卓抜なる識見と豊富な経験をもって地方自治の発展に貢献されました。

この間、松浦市議会副議長をはじめ、産業経済常任委員会委員長、教育民生常任委員会委員長、予算審査特別委員会委員長を務められるなど、議会の円滑な運営に尽力されるとともに、松浦市の産業・経済の発展、教育・福祉の向上に多大な貢献をされました。

また、温厚な人柄や行動力は、地域住民の厚い信望を得ています。

### 瑞宝単光章（消防功労）

百枝 義人さん  
よしと

（今福・仲町、72）



昭和35年1月に松浦市消防団に入団以来38年間、旺盛なる責任感を発揮して消防の任務遂行にまい進されました。昭和54年には副分団長、59年には分団長に昇進。61年には当該地域分団を統括する本部分団長に就任。さらに平成4年には副団長に昇進されました。常に自覚と誇りを持ち、消防団の発展と団員の資質向上に多大な貢献をされました。

また、昭和35年1月に発生した今福町金井崎炭鉱住宅火災は、長屋7棟51世帯が全焼する大惨事となりましたが、上司の指揮と自己の冷静沈着な判断のもとに住民の救出と消火活動に縦横無尽の活躍をされました。

## 武道大会での活躍を報告

県立松浦高校（北浦剛資校長）に勤務する講師の板垣勇さんと宮崎東平さんが7月8日、表敬訪問のため松浦市役所を訪れました。

板垣さんは、7月3日兵庫県で開催された第5回世界なぎなた選手権大会に日本代表として出場した試合結果を報告（P12でも板垣さんを紹介）。

一方、宮崎さんは、剣道競技において5月8日長崎市で開催された第66回国体兼西日本各県対抗大会県選手選考会で優勝し、県代表として10月に開催される山口国体に出場することを報告しました。

報告を受けた友広市長は、「先生方の活躍は、松浦市にとってたいへん明るい話題です。平成26年に本県で開催される“長崎がんばらんば国体”に向けて頑張ってください」と激励しました。



## ひでのぶ 押淵英展さんが警察協力章を受章

押淵英展さん（御厨・駅通、72）が警察協力章を受賞し、7月6日、長崎県警本部で行われた伝達式で賞状を受け取りました。

警察協力章は警察業務に協力した民間人のうち、功績が著しい人に対して警察庁長官から授与されるもので、警察表彰では最高位のもので、今年は今全国で40人、県内では押淵さんだけが受章しました。

押淵さんは、昭和60年に県警嘱託医、松浦署留置嘱託医、同署産業医となり、26年にわたり検視業務や留置人・署員の健康管理に協力。これまでに577体の遺体を検視しました。

